

7月号では、先日の学校応援団の日(7/5【土】)に行われた3年生の授業を紹介します。

【資料】	『女闘士 成田真由美』(副読本:「かけがえのないきみだから」3年より)
【概要】	勉強も運動も得意な成田さんが、中学校1年のときに下半身が完全マヒとなり、水泳で生きようと気持ちを切り替えた矢先に交通事故、そして、その後の病気など、数々の試練を乗り越え、力強く、前向きに生きていく姿を描いたもの。
【わらい】	ふりかかる困難を乗り越え、理想を求めて目標に向かって自己の人生を切り開いていこうとする態度を育てる。【目標の実現・強い意志】

《授業の感想》

- 「僕が成田さんだったら…」と考えると想像が付きません。彼女はとても強い女性だと思いました。僕にあれほどの災難がふりかかってきたら立ち直れないと思うし、何かをする気にもならないと思います。だから、成田さんは強いし、たくましい女性だなと思いました。今日の授業を受けて、僕も何か新しいことにチャレンジしてみたいなと思いました。
- 成田さんのあきらめない心と強さに感動しました。足が動かなくなっただけでなく、事故になって体温の調節までもができなくなったにもかかわらず、水泳をやり続ける気持ちはすごいなと思いました。成田さんから、あきらめないことの大切さを学べたと思います。
- どんな苦しい試練があっても、あきらめずに生きている成田さんはすごいなと感じました。また、成田さんには支えてくれる仲間がたくさんいることがわかりました。ほくも、成田さんのように、どんなに苦しいことがあっても前向きに考え、自分を支えてくれる仲間を作り、あきらめずに生きていこうと思いました。
- 私だったら、苦しくてもう何もかも嫌になってしまうかな... と思いました。成田さんは“もっと前へ”という気持ちが強いんだなと思いました。私も見習いたい!
- 成田真由美さんのあきらめない所、負けず嫌いなところがあって、真由美さんの第二の人生が楽しく歩めたのかなと思います。私も、どんなにつらくても、苦しくて、真由美さんを見習って、あきらめず、前に進みたいと思うことができました。
- 中学校1年生という人生でも1番活発に動くときに足を失ってしまって、成田さんは本当に悔しかったと思います。私も、足をケガして思いっきり走れなかったとき、とても悔しくて、苦しい思いを何度もしました。成田さんは本気で命を落とそうとしたこともあったそうです。それでも諦めず、自分が力を発揮できるものに出会えて嬉しかったらうなと思いました。成田さんの前向きな性格とメンタルの強さは、誰にも負けないだろうなと思いました。私も、成田さんのようなポジティブでメンタルの強い人になりたいです。

- 真由美さんは、足を悪くしても立ち直って水泳を始めました。どんなに苦しくても、悲しくても、水泳を始めようとするなんてすごいと思いました。それでもメダルもたくさんとっちゃうなんて、本当にすごいです。あきらめずに頑張れば、夢は叶うんだと思いました。
- 成田真由美さんはすごい人だと思います。初めの方は、多分私もつらくて、悲しくて、痛くて、苦しいと思うと思います。でも、15年後、水泳ができるなんてすごいと思います。私は、いつも「できない」とすぐに諦めてしまいます。私もいつ障がいをもつかもわからないし、事故にあうかもしれません。でも、決してあきらめないで、成田真由美さんのように夢をもって頑張っていきたいです。
- 僕は、この話を聞いて、成田さんはとてもすごいなと思いました。足が動かなくなるだけでもつらいのに、それに事故で左手も開けなくなり、それなのに水泳でパラリンピックに行き、しかも金メダルも6個とり、すごい努力をしたんだなと思いました。僕だったら、とても耐えられないと思います、きつとメンタルがとても強く、負けず嫌いだったんだなと思いました。僕もこんな風に、何があっても負けずに立ち向かっていける人になりたいと思いました。
- 足と首という2つの障がいをもってしまって、本当に苦しかっただろうけど、それでも努力して苦しみを乗り越えたから金メダルをとることができたのだと思う。この日記を読んで、自分が当たり前のことができてるのは、たくさんの人に支えられてきたからだと思ったので、感謝したい。
- 私は、この話を聞いて、病気というものは、いつ、誰に起こるかかわからないもので、私にも起こるのかなと考えたら、絶対嫌だし、怖いなと思いました。だけど、もし、病気になって、障がい者になったとしても、成田さんのように、自分のできることを見つけて、精一杯生きていきたいと思いました。頑張る人の強さがよくわかりました。

【道徳だより5月号に対して保護者からいただいた感想…】

- 自分の子供だけでなく、同じ年頃の子供たちがどんな考えをもっているのかを知ることができ、有意義でした。また、しっかりした考えをもっているのだなと感心させられました。
- 「道徳だより」は、道徳の授業でどんなことを思い、考えたのかをもう一度話し合うことができるので、これからも是非お知らせいただけたらと思います。
- 中学校での授業参観はどんな感じか、初めての参観日に緊張していましたが、1-2では意見、発言を和気あいあいと言い、それでも授業に真剣に取り組む姿に成長が感じられて、とても良かったです。

切り取り線

※ できましたら、「道徳だより」や授業参観の感想などをお聞かせください。

【提出は担任をお願いします。】

【9月&10月の授業予定…】

●第1学年

資料名	ねらい
【9月】	
裏庭での出来事	・自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。
とつげき家族	・父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。
「ありがとう」に出会いたくて	・多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。
絆を結ぶ、虹のかけはし	・温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。
【10月】	
響き合う歌声	・学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。
釣りざおの思い出	・望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り、節制に心掛け調和のある生活をする。
これからの私	・世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。
夏の思い出	・自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。

●第2学年

資料名	ねらい
【9月】	
たゆまぬユーモアは 頑健な体をしのぐ	・変化の激しい社会を生きるため、心身の健康の増進と節度、調和のある生活を送るようにする。
火影	・希望と勇気を持ち、より高い目標に向かってねばり強くやり抜く、強い意志を養う。
心のバリアフリー	・人間らしい良さを認め、人間として生きること喜びを見いだそうとする意欲を育てる。
リズム	・異性の立場や考えを重んじ、思いやりをもって互いに高め合おうとする。
【10月】	
日本一美しい学校に	・学級や学校の一員としての自覚を持ち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してより良い校風をつくろうとする態度を育てる。

最初の公認女性医師・ 荻野吟子	・正義を重んじ、誰に対しても公平で明るい社旗の実現に尽くそうとする態度を育てる。
歌の世界で太陽に なりたい	・理想の実現をめざし、志をもって力強く生きようとする積極的な態度を育てる。
田植え踊り	・地域社会の一員としての自覚を持ち、地域の文化や伝統を大切にし、郷土を愛する心情を育てる。

●第3学年

資料名	ねらい
【9月】 自信を持って、 自分自身のために	・自主、自立の精神を重んじ、その結果に責任を持ちながら、自分らしく生きる態度を育てる。
「情緒」と「形」の国、日本	・世界に誇る日本人としての美しい感性や文化を継承することによって、新たな文化の創造に貢献する意欲を育む。
落のとう	・公共の福祉や社会の発展を支えている人々の活動を知り、進んでよりよい社会の実現を目指そうとする態度を育てる。
ボクは新人	・困難や失敗にくじけず、より高い目標を目指して勇気と希望を持ってやり抜く態度を育てる。
【10月】 きらめけ、 ほくだけの音色	・社会の中に生きる1人として自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする態度を育てる。
五井先生と太郎	・誰に対しても正義を重んじ、公平につきあい、明るく楽しい社会を実現しようとする態度を育てる。
校門を掘る子	・自分の学校を愛しよりよい校風を継承していこうとする意欲を養う。
塩狩峠	・人間の持つ気高さへの信頼感を深め、人間として生きることの素晴らしさについての自覚を深める。